



## 日英2か国語で情報発信

### ～日本美しい森 お薦め国有林～

林野庁では、みなさまに広く森林に親しんでいただけるよう、全国の国有林の中に「レクリエーションの森」を整備しています。

この中から、特に訪れていただきたい森を「日本美しい森 お薦め国有林」として近畿中国森林管理局管内には20箇所（全国で93箇所）を選定しています。

このお薦め国有林については、国内外からお見えになる観光客の皆さまに楽しんでいただけるよう、ガイドツールとして、日英2か国語で「日本美しい森 お薦め国有林」の歴史・文化や楽しみ方などの情報を掲載したリーフレットを作成しています。現在、安宅林風景林（石川県小松市）、近江湖南アルプス自然休養林（滋賀県大津市・栗東市）、嵐山風景林（京都府京都市）、東山風景林（京都府京都市）、高取山風景林（奈良県高取町）、扇ノ仙森林スポーツ林（鳥取県八頭町）の6箇所ができあがっており森林管理署や観光案内所などに置いており、特に英語版が人気で増刷する状況になっています。

なお、近畿中国森林管理局Webサイト特設ページにPDF版のリーフレットを掲載していますのでダウンロードが可能です。

URL:[http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/mori\\_zukuri/recreation/osusume.html](http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/mori_zukuri/recreation/osusume.html)



日本語（左）と英語（右）のリーフレット

- 掲載内容・風景林の特徴（地理・地形、歴史・文化、植生等）
- ・楽しみ方のポイント
  - ・施設情報（駐車場、開園時間など）
  - ・アクセス

また、林野庁Webサイト内にはリーフレットの情報にプラスして地域の観光情報のリンクなどを掲載したページを開設して、最新情報のイベントなどとあわせて情報発信しています。

海外からの観光客の皆さまにも楽しんでいただけるよう、サイト内の記事はすべて言語スイッチャーにより日本語バージョン、英語バージョンに簡単に切り替え可能です。

現在、6箇所（全国で31箇所）を公開中、2019年度末までに全てを公開していく予定です。

林野庁Webサイト（日本美しい森 お薦め国有林）【英語版】

URL:[http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu\\_rinya/kokumin\\_mori/katuyo/reku/rekumori/](http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/reku/rekumori/)

トップページの「エリア別」で「近畿中国」にチェックを入れると表示されます



Web サイト表示

森林内では、訪れた外国人観光客にも親しんでいただけるよう英語標記の案内板設置を進めています。また、遊歩道で迷うことがないように分岐には日英2か国で道標の設置を行っています。

これから紅葉が見頃となる季節、ハイキングや歴史散策、バードウォッチングなど、様々な楽しみ方を求めて、ぜひ一度お出かけ下さい。



英語表記の総合案内板（左）と2か国標記の道標（滋賀県：近江湖南アルプス自然休養林）

※東山風景林（京都府京都市）、近江湖南アルプス自然休養林（滋賀県大津市・栗東市）については、9月の台風21号の影響で林内に倒木被害が多数発生したことから通行できないルートがあります。近畿中国森林管理局ホームページの情報をご覧下さい。





## ニュース

## 早生樹に関する 産学官共催セミナー

### 【技術普及課】

9月14日（金）に、「産」：（公社）日本木材加工技術協会関西支部早生植林材研究会及び（一社）平林会、「学」：京都府立大学生命環境学部森林科学科及び京都大学大学院農学研究科森林科学専攻、「官」：近畿中国森林管理局の共催による早生樹に関するセミナーを大阪市内で開催しました。

本取組は、平成27年度から行っており、3回目となる今回は、「国産早生樹センダンの使い道」と題し、利用拡大の観点で、早生植林材研究会が一昨年に実施した国産のセンダンについて様々な活用方法を検討するプロジェクトの成果の発表を中心に開催しました。センダンの製材を損傷なく乾燥させる技術、パーティクルボードやMDF※、合板などの木質材料として活用、楽器の材料としての活用、さらには宇宙での利用まで、非常に幅広く、夢のある内容となりました。

そもそも産・学・官が協力し早生樹の取組に着手した背景には、戦後植林したスギ、ヒノキの人工林が50～60年を経て利用期を迎え、主伐・再造林の時代に入っているものの、我が国の林業の大きな課題として木材の販売価格に対して造林にかかる費用が高いこと、植えてから収穫までの期間が非常に長期であることから森林所有者の経営意欲が低下し、主伐・再造林が進んでいないことがあります。この解決策として、20～30年の短期

で収穫でき、取引単価の高い早生樹が着目されています。

また、木材資源の需要の視点では、従来輸入に頼っていた広葉樹材について、輸出国における資源の枯渇などによって輸入量が大きく減少していることやクリーンウッド法が施行されたことにより、国産広葉樹への期待が高まっている状況です。

こうしたことから、早生広葉樹である「センダン」に着目し、官と学では植栽試験による造林技術の開発、産と学では利用技術の開発を行い、その成果を互いに共有した上で、連携して今回のセミナー開催のような普及啓発活動を行っています。

会場には、90名以上の参加があり、自治体や研究機関のほかに、川下や建築用材メーカーの参加が非常に多く、輸入広葉樹材の代替としての国産センダンへの期待の高さが伺えました。参加した企業からは、センダン材のニーズが高まっているが、供給が追いついていない状況であることから植林を普及して欲しいとの意見がありました。

当局では、今後も関係機関と連携して試験植栽や普及啓発の取組を継続し、その成果を局のホームページなどで発信してまいります。



早生樹造林の取組みについて説明

※パーティクルボードやMDFとは  
木質チップを原料とした板状の製品である  
木質ボードの一種

## 島根大学生 木材生産現場を見学

### 【島根森林管理署】

9月13日（木）、島根大学の学生（21名）が、島根森林管理署管内の杉山国有林（吉賀町）の木材の生産現場と高鉢山国有林（津和野町）の治山工事施工現場を訪れました。

学生は3年生で、大学の専門カリキュラム「森林学実習Ⅱ」として4日間の行程で演習林内での実習や県内の林業・木材産業の現場視察等を行うもので、その最終日が国有林の現場視察となったものです。

現地では、島根森林管理署の職員が、森林作業道を作設するにあたり、雨水などの水処理を工夫した点や、一貫作業システム※の作業手順やその効果などを説明したほか、生産現場では事業を実行している有限会社高田林産の社長から、生産事業の概要や高性能林業機械の説明を受けました。



事業概要や高性能林業機械について説明を聞く学生

実際の生産現場を見るのは初めてという学生も多く、最初は、緊張からか質問が出づらかったのですが、後半は当署森林官の巧な話

術により、次々と質問が上がり、予定時間をかなりオーバーしてしまいました。



一貫作業システムの作業手順について説明

今回の現場視察では、国有林の現場活動や森林管理署職員に接し、林野庁に関心を持ったり、国有林野事業の理解度を深める見学会となったところです。

昨年度は大雨で現地視察を中止した経緯もあり大学側も署側も、今回の成功を非常にうれしく思っています。双方にとって意義あるイベントであり、今後も引き続き実施していきたいと考えています。

今回の現場視察にあたって多大なるご協力をいただいた高田林産の社長に御礼申し上げますとともに、島根大学の学生さんたちの将来の繁栄をご祈念いたします。



ハーベスタによる採材を見学

※一貫作業システムとは  
伐採から植栽までを一体的に行う作業



## 「コンテナ苗」でコスト化 生産技術研修会に参加

### 【滋賀森林管理署】

8月23日（木）及び24日（金）の両日、滋賀県内外の山林種苗生産者、林業団体等が参加する「コンテナ苗生産技術研修会」が開催され、滋賀森林管理署からも参加しました。

滋賀県では県内の人工林が主伐期を迎え、主伐後の再造林に備えた体制づくりが課題となっていることから、平成29年、約20年ぶりに滋賀県山林種苗協同組合が発足しました。今回の研修会は、同組合が全国山林種苗協同組合連合会との共催により、コンテナ苗生産の経験が浅い県内の山林種苗生産者の技術力向上を目的として開催されたものです。



コンテナ苗について講演される太田清蔵氏

23日は、大津市の会場において、コンテナ苗分野における第一人者として活躍されている、コンテナ苗木生産研究所の太田清蔵氏が講師となり、コンテナ苗に関する講演がありました。

太田氏からは、コンテナ苗が必要となっている背景には、我が国の山元での立木価格がオーストリア等と比べて安いことから、コンテナ苗を使用して主伐・再造林の低コスト化を図る必要があることや、実際にコンテナ苗

を使用した低コスト造林では、普通苗で一般的な造林を行った場合と比べて3割程度のコストが縮減できた事例もあるとの説明がありました。また、樹種による性質の違い、播種、水やり、施肥など育苗方法に関する細かいデータの解説とともに、コンテナに種子を直蒔きすることで、1年以内に出荷・植栽することも可能な見通しの説明がありました。

翌24日は、会場を栗東市に移し、太田氏の実演により、コンテナへの培土の詰め方、水やりのタイミング、挿し木苗を生産する場合の挿し穂の作り方等の説明がありました。

その後、会場近くの苗畑にて生産しているコンテナ苗を視察する中で、熱心な意見交換が行われていました。

研修会に参加していた他府県の生産者からは「国有林でのコンテナ苗使用が業界の成長に寄与している」との声も聞かれ、国有林への大きな期待を感じているところです。

滋賀森林管理署においても、今後、県内の関係機関・団体と情報交換を行いつつ、コンテナ苗を使用した低コスト造林を進めていくこととしています。



コンテナ苗

※ コンテナ苗とは  
1本ずつ専用の容器で育てた苗木のこと

## 気比の松原で松葉かき 敦賀市立「松陵中学校」

### 【福井森林管理署】

9月6日（木）に、福井県敦賀市にある気比の松原（松原国有林）で、敦賀市立松陵中学校1年生170人と教員を含む185人を対象に松葉かきを実施しました。

過去においては、火種等に用いるため住民により松葉の採取が行われ、白砂青松の松原が保たれていましたが、松葉が使用されなくなり松葉が堆積するようになるとマツが他の木との競争に負けてしまうようになりました。

松葉かきは、土壌を改善して豊かな土を作る松葉を熊手で集めて搬出することにより、貧栄養環境に強い植物であるマツにとって好適な環境にすることを目的としています。

この松葉かきに先立ち、8月29日（水）に福井森林管理署長と松原を愛する会会長が出前講義を行いました。この出前講義は、松陵中学校が「地域と進める体験推進事業」のモデル校となり、その一環で開催したものです。生徒たちは、「気比の松原 100年構想」について学び、自分たちに何が出来るかを考えました。その中で、次週に体験する松葉かきについてはその必要性に関心を示していました。



出前講義

当日は気比の松原 100年構想推進連絡協議会長と福井森林管理署長の挨拶に続いて福井森林管理署員から松葉かき作業の仕方と注意点の説明を受けた後に松原国有林内へ移動し松葉かきを実施しました。生徒たちは、一生懸命松葉かきに取り組み、40Lゴミ袋約500袋分の松葉を回収しました。



500袋分の松葉を掻きました

生徒たちからは、「松葉が刺さる上に、熊手で集めた松葉には砂や枝が混じっているので、仕分けして袋詰めするのが大変だった。」「満杯の袋が溜まってきたり、松葉かきしたところが（松葉が無くなり）きれいになっていくと達成感があり気持ち良い。」等の感想がありました。参加した生徒たちには、敦賀の宝である「気比の松原」を守り育てる意識を高めてもらえたと思います。

福井森林管理署は、気比の松原（松原国有林）を守るためマツを枯らす松くい虫の駆除事業や間伐、広葉樹伐採等を実施していますが、このようなソフト面での取り組みにより、松原国有林の保全活動の必要性を理解して積極的に参加してくれる強力なサポーターを養成することも気比の松原（松原国有林）を守るために意義のある活動だと考えています。

## お知らせ

## 各地のイベント

各イベントの内容については近畿中国森林管理局のホームページをご覧ください。

または、それぞれのQRコードでご検索ください。

## \* 第32回水都おおさか森林（もり）の市

「森林（もり）の市」は、森林の恵みや木に触れることで、森林と人とのつながりを実感し、森林・林業・木材産業の役割と意義、農山村の現状について理解を深め、豊かな森林資源を次世代に引き継いでいくことを目指したイベントです。

今年も、次世代の森林・林業・木材産業の担い手となる子どもたちや子育て世代も楽しめる企画をたくさんご用意しています。



チラシはこちら

みなさんのお越しをお待ちしています♪

- ・開催日時：平成30年10月28日（日曜日）  
10時から16時
- ・場所：近畿中国森林管理局・毛馬桜之宮公園  
（JR環状線「桜ノ宮駅」西出口から徒歩5分）
- ・内容：クラフトコーナー、森林セラピー等の森林体験
  - ：木製品や特産品の展示・販売
  - ：鹿肉バーガーの無料ふるまい
  - ：木桶仕込みの日本酒の試飲
  - ：木にまつわる景品が当たるガチャガチャ抽選会（数量限定、スタンプラリー制）、キッズ&親子向けイベント

「ミス日本みどりの女神」の竹川智世さんが来場し、各イベントを盛り上げます。



会場内ブース配置図

## \* 「桶・樽」の日本酒を支える「木の文化」の継承・発展に向けた円卓会議

日本の醸造文化を支える「木桶」が、いま、喪失の危機に直面しています。

関西圏で守られてきた“桶・樽の日本酒”をみつめなおし、“木の文化”を次の世代に継承・発展させるため、桶・樽の製造に関わる林業・木材業関係者、木の桶・樽にこだわる酒蔵や販売・飲食店、木の効果・効能を科学的に研究する研究者、行政などが、それぞれの立場から取組を紹介し意見交換します。

ご興味・ご関心のある方のご参加をお待ちしています！

- ・開催日時：平成30年10月28日（日曜日）  
13時30分から15時30分
- ・場所：近畿中国森林管理局大会議室（4階）  
※「水都おおさか森林の市」併催イベント
- ・参加費：無料
- ・参加人数：80名（先着順）
- ・申込み方法：申込書に必要事項を記載の上  
メール又はファクシミリでお申し込みください。
- ・募集〆切り：平成30年10月24日（水曜日）

「ミス日本酒」  
須藤亜紗実さん来場

## 森林のギャラリー（局庁舎1階）

10/28～11/2

水都おおさか森林の市 特別展

本企画展では、「森林の市」の来場者に対し、森林管理局の取組みを紹介したり、「森林の市」にちなんだ情報発信を行います。

11/12～12/28

幻の貯木場写真展・・・乞うご期待!!



# シリーズ 『国有林 最前線！』

## 広島北部森林管理署

## かんのせきょう みょうがたにやま 神之瀬峡 (茗荷谷山国有林)

神之瀬峡（茗荷谷山国有林）は、庄原市高野町から三次市君田町にかけての神野瀬川流域の標高250m～900mに位置し、神野瀬川流域一帯の2,736haが平成10年4月に広島県内6番目の県立自然公園に指定され、茗荷谷山国有林の約半数1,214haを占めています。

神しか渡ることができないといわれた神野瀬川。急流により浸食されてできた神之瀬峡は、浸食された溪谷の深さが約300mにも及び雄大さを誇っています。また、溪谷には岩壁、岩峰を持つ溪谷景観と、神野瀬川支流には、大小の滝が見られ、神之瀬湖周辺に広がる湖水景観が広がり森林浴、紅葉、滝、キャンプ場など家族で楽しめる場所が多くあります。

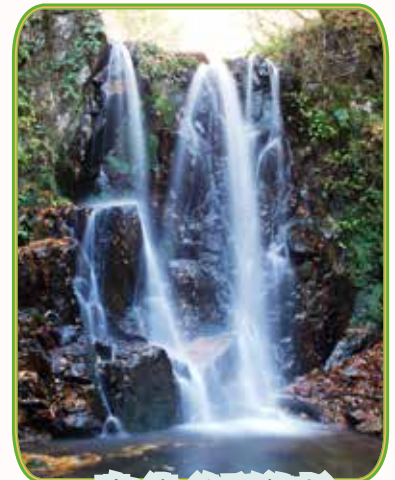
家族で楽しんだ後には、近くにある君田温泉、たかの温泉で汗を流すなど思い出の1日となることでしょう。



神之瀬峡



上流に位置する高暮ダム



鳴ヶ滝 (なるがたき)

## 京都大阪森林管理事務所 宮津・峰山森林事務所 首席森林官 弘兼光秀

宮津森林事務所は、京都府の北部、日本三景の一つの天橋立がある宮津市に所在しており、宮津市、京丹後市、舞鶴市、伊根町、与謝野町内の国有林約2,200haを管理しています。

国有林の大半は丹後半島に所在しており、そのうち、浅谷国有林と駒倉国有林においては、平成28年度に約61haをブナ・ミズナラ希少個体群保護林に設定しました。付近には丹後半島最高峰の高山があり、また、京都府最大のブナ林が広がる京都府自然環境保全地域と接しており、京都府とも連携しながら保護林の保護・管理に努めています。

また、森林の整備については、29年度実施した、低コスト化に向けた事業の実施により、コンテナ苗を植栽、シカ防護柵を設置し、森林の保護、整備に努めています。

今後も適切に森林の整備・保全を図り、地元へ貢献できる国有林の取組を推進してまいります。



浅谷国有林のブナ



日本三景 天橋立